

ならコープグループの自立分散型エネルギー社会の実現に向けた取り組み

太陽光発電施設を8事業所に設置

太陽光発電施設は2007年に西奈良支所で発電を開始し、2015年度末までに2,192kW(8事業所)の発電容量になりました。



写真はコープみみなしの屋上に設置された太陽光発電です。

木質ペレットストーブを6台設置

2015年度に木質ペレットを燃料とする「ペレットストーブ」をならコープグループで5事業所に設置しました。木質ペレットは再生可能エネルギーでCO₂排出量においてカーボンニュートラル*であることから注目されています。奈良県の豊富な森林資源を活用する木質ペレットの利用を模索し、地産地消のサイクルを目指します。

*カーボンニュートラルとは排出される二酸化炭素と吸収される二酸化炭素が同じ量であるという概念



木質ペレット

本部事務棟に設置した木質ペレットストーブ



西奈良支所 73kW
(ならコープ20kW
(株)コープエナジーなら553kW)

コープ朱雀 256kW

本部 事務棟 50kW*
事業棟 (2016年秋予定49kW)

*一般社団法人地域未来エネルギー奈良による発電

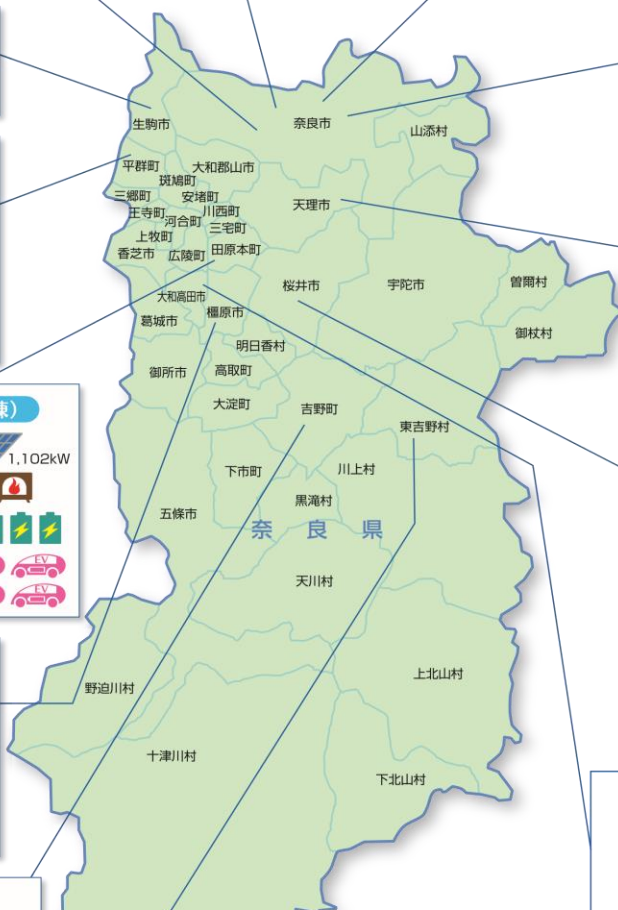
ディアスコープいこま

ディアスコープたつたがわ 365kW

田原本物流センター(北棟・西棟・東棟) 1,102kW

コープみみなし 248kW

吉野事業所 (2016年夏900kW)



コープ六条 **コープおしくま**

コープ学園前

(株)CWS本社 95kW

桜井支所 53kW

コープなんごう (2016年冬予定360kW)

高田支所

東吉野水力発電株式会社 (2016年夏82kW)

ならコープグループは「つくばね発電所」の復活に向けた市民運動への参加と支援をすすめています。

蓄電池の配置

11事業所に18台の蓄電池を設置し、大規模災害時の停電対応の非常用電源として活用できるように準備をすすめました。

電気自動車の配置

2015年度に電気自動車を15台配置しました。2017年度までに50台の電気自動車を配置する予定です。電気自動車の導入によりガソリン使用量を削減し、CO₂排出量の削減に努めます。また、災害時には電気自動車でも電気を移動し、電源として活用できるように準備しています。



(株)コープエナジーなら



発電事業を目的に設立したならコープグループ企業。太陽光・水力や森林資源など再生可能エネルギーを活用した発電所の開発をすすめています。

ペレットストーブ 蓄電池 電気自動車 太陽光発電 小水力発電 (株)コープエナジーなら発電施設